

「潤いファイル」について

「潤いファイル」は、特別な支援を必要とするお子さんの出生から高等学校までの成長の様子とお子さんを支援する機関（教育・医療・福祉・保健・労働）で受けた支援の内容（支援計画）を1冊にまとめ、コミュニケーションツール（意志や情報を伝達するための道具）として活用するファイルです。

具体的には、「潤いファイル」を通して保護者がお子さんの情報を伝えることによって、支援機関がお子さんの特性を理解しやすくなり、保護者と支援機関の連携をスムーズにします。また、支援機関の間でお子さんの情報を共有することで理解を深め、より適切な支援を考えていくことができます。

特に、幼児教育機関（幼稚園・幼稚部、保育園、療育機関等）、小学校（小学部）、中学校（中学部）、高等学校（高等部）では、家庭と学校等が協力して個別の教育支援計画（支援シート）を立て、その計画に基づいて具体的な支援を実施します。

このように「潤いファイル」は、高等学校卒業後の生活支援や就労支援につなげ、お子さんの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援することをねらいとしています。

また、さいたま市は「潤いファイル」により、教育・医療・福祉・保健・労働の専門機関が連携・協力して、お子さんとそのご家族に対して乳幼児期から学校卒業後まで一貫した相談・支援体制の整備・充実を推進しています。



「潤いファイル」の内容

「潤いファイル」のは、次のような3つのシートで構成されています。

☆ フェイスシート：本人のプロフィールや相談・支援の履歴を記録するシート

☆ 理解シート：お子さんの特性を理解し、教育的ニーズを考えるシート

※ 就学相談において、相談員と一緒に作成します。

☆ 支援シート：教育的ニーズに応じた適切な支援を計画するシート

※ 特別支援学級、特別支援学校等で使用している様式がある場合は、その様式で作成し、ファイルの該当ページにはさんでください。

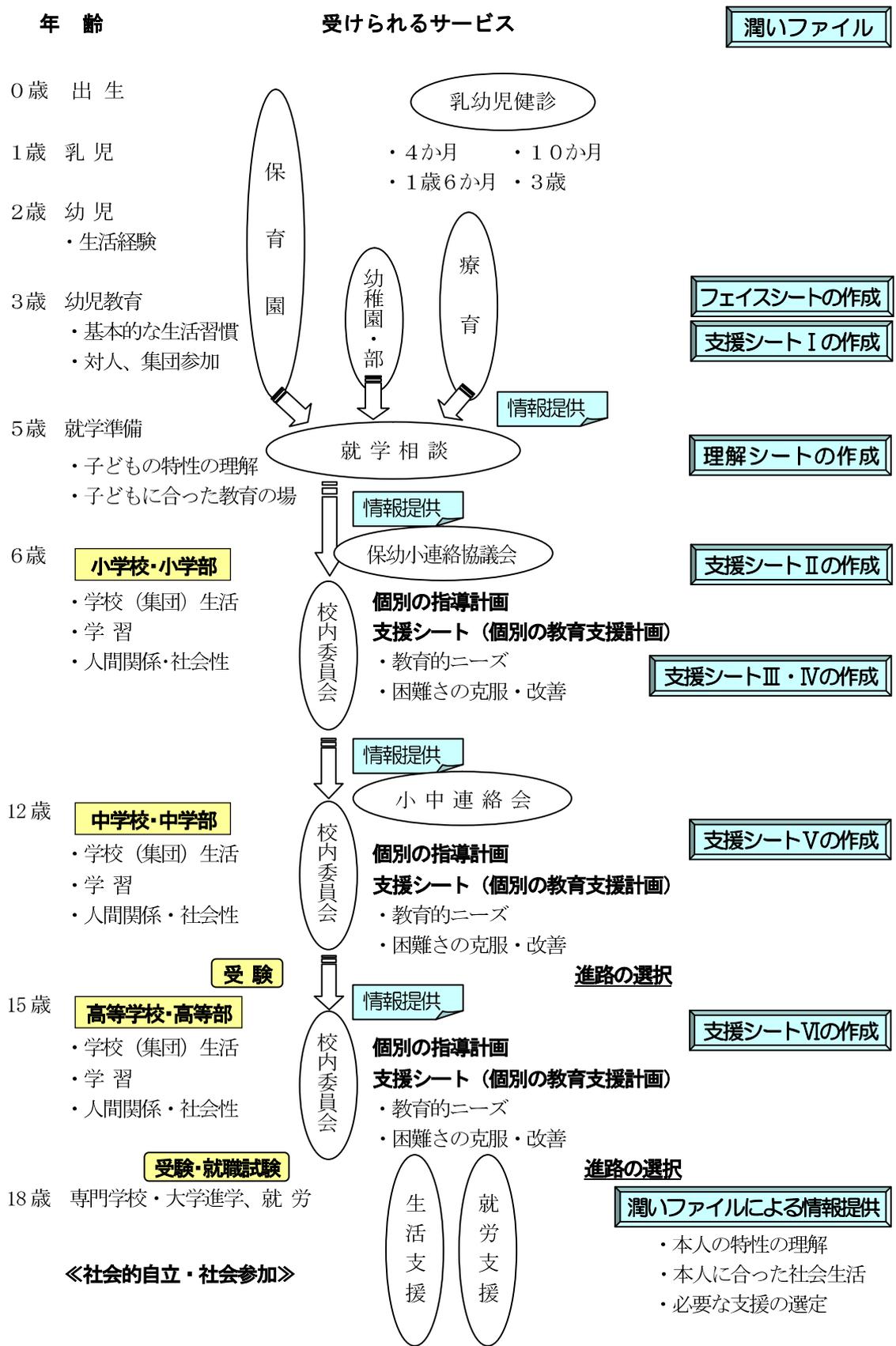
これらのシートの作成時期は、年齢に応じて受けられる支援とリンクしています。次のページの作成例を参考にしてください。

～ 目 次 ～

- 1 「潤いファイル」について
- 2 「潤いファイル」の内容
- 3 支援の流れと「潤いファイル」の活用例
- 4 「潤いファイル」の活用について
- 5 フェイスシート
- 6 理解シート
- 7 支援シートⅠ（幼稚園・幼稚部、保育園、療育機関等）
- 8 支援シートⅡ（小学校・小学部低学年）
- 9 支援シートⅢ（小学校・小学部中学年）
- 10 支援シートⅣ（小学校・小学部高学年）
- 11 支援シートⅤ（中学校・中学部）
- 12 支援シートⅥ（高等学校・高等部）
- 13 シートの記入方法
- 14 困ったときの連絡先

2009.3

支援の流れと「潤いファイル」の活用例



「潤いファイル」の活用について

お子さんの情報は、成長とともに増えます。「潤いファイル」のシート以外にも、検査結果の詳細、個別の指導計画などの必要な情報はファイルしてください。そして、ご家庭で大切に保管し、支援機関との情報交換等に役立ててください。

「潤いファイル」の活用にあたってのお願いは、次のようになります。

保護者の方へ

- 「潤いファイル」は、教育委員会学校教育部指導2課、保健福祉局福祉部障害福祉課及び特別支援教育相談センターで発行します。
- 特別支援教育相談センターの教育相談を受けている方は、発行の際に過去の支援情報等を収集します。
- 「潤いファイル」は、保護者又は本人が管理します。
- 支援機関等への「潤いファイル」の提示は、保護者又は本人が決めます。
- 「潤いファイル」の各シートは、教育委員会のホームページからダウンロードできます。ページを追加したい場合にご活用ください。

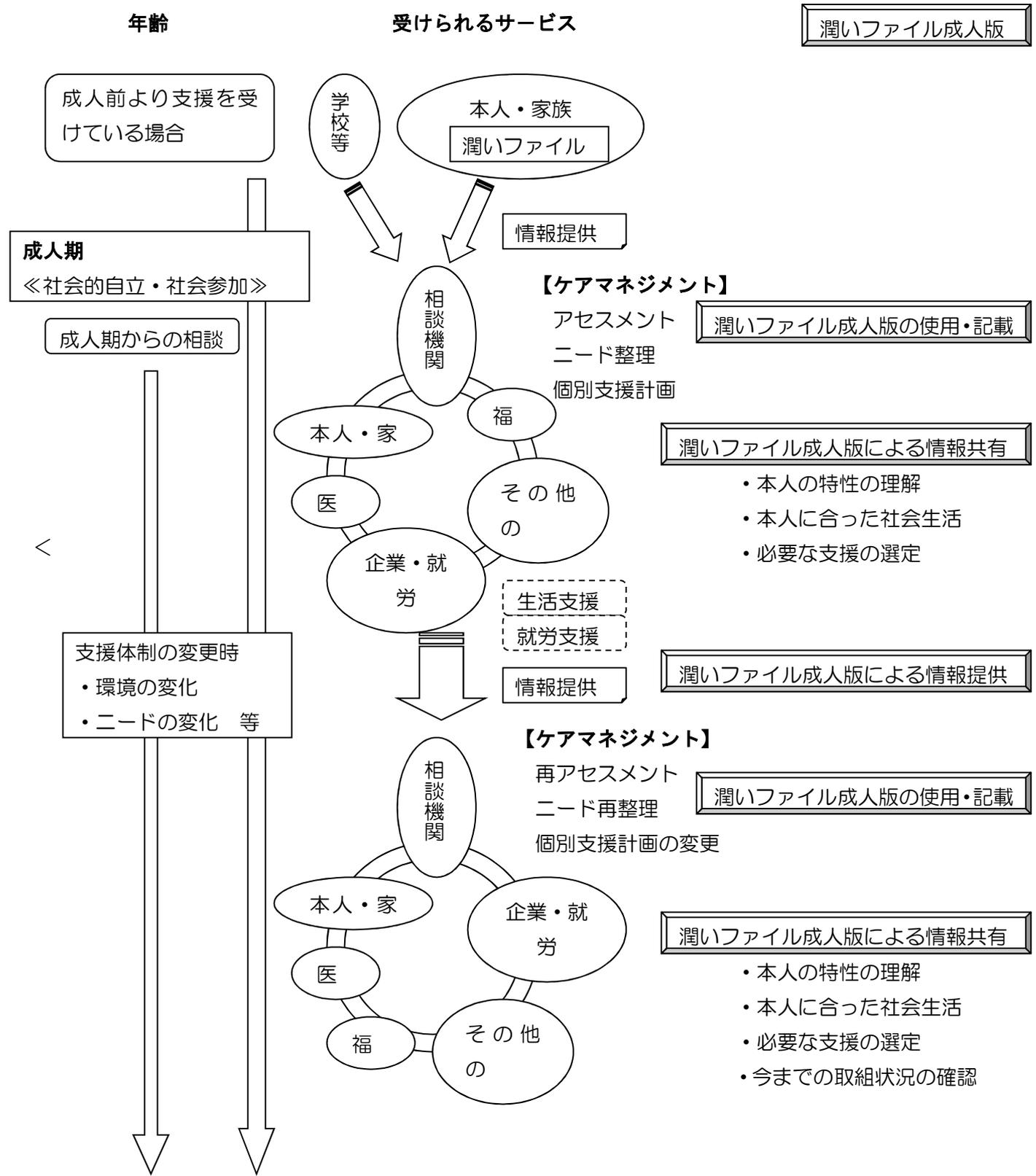
<http://gakkoukyouiku.saitama-city.ed.jp/>

支援機関の方へ

- 個人情報の取扱いについては、十分な配慮をお願いします。
- 「潤いファイル」へ必要事項の記入をお願いします。
特に、学校においては支援シート（個別の教育支援計画）に記載する時期がありますので、保護者と相談しながら作成してください。
- 情報は、他の支援機関の方と共有することをご承知ください。



支援の流れと「潤いファイル成人版」の活用例



フェイスシート

ふりがな 本人氏名	(男・女)	生年月日	年 月 日生
居住地	〒		
	【自宅】	()	【携帯】 ()

	〒		
	【自宅】	()	【携帯】 ()

〒			
【自宅】	()	【携帯】 ()	
保護者氏名			

【家族構成】 ※ 本人を除く 同居家族以外でも支援できる方を記入してください。

氏 名	続 柄	生 年	緊急の連絡先 (携帯等)	備 考 (可能な支援を具体的に)
		年 月		
		年 月		
		年 月		
		年 月		
		年 月		
		年 月		
		年 月		
【家族関係図】				

【生育歴】 胎生期・出生期・乳児期・幼児期

時期	項目	生育の状況
胎 生 期 ・ 出 生 期	出生時の父母の年齢	父（ 歳） 母（ 歳）
	妊娠中の母親の健康	健康・他（ ）・疾病（ ）
	妊娠中の薬の服用	無・有（ ）
	妊娠期間	在胎 月 日（予定より 日早・遅）
	分娩	普通・逆子・鉗子・吸引・帝王切開・他（ ）
	胎児	普通・衰弱・仮死・双子・臍帯てん絡・他（ ）
	出生時の体重	（ g）
	泣き方	強・中・弱
	黄疸	普通・軽・重
保育器使用	無・有（ 日）	
乳 児 期	栄養	母乳・人工乳・混合乳
	発育状況	良い・普通・悪い
	離乳	歳 月
	首のすわり	歳 月
	歩き始め	歳 月
	かたことを言う（発語）	歳 月
	おむつがとれた時期	歳 月
	簡単な服を一人で着替える	歳 月
幼 児 期	発育状況	良い・普通・悪い
	知恵づき	早かった・普通・遅かった
	遊びの種類	
	心配だった行動の特徴・くせ	
	主な病気	
育 見 で 気 に な っ た こ と	<input type="checkbox"/> 視線が合わなかった	<input type="checkbox"/> 人見知りをしなかった
	<input type="checkbox"/> 動作の模倣をしなかった	<input type="checkbox"/> 指さしをしなかった
	<input type="checkbox"/> 抱かれることを嫌がった	<input type="checkbox"/> 母親の後追いをしなかった
	<input type="checkbox"/> 昼寝をしなかった、眠りが浅かった	<input type="checkbox"/> 夜泣きが多かった
	<input type="checkbox"/> 育てやすくおとなしなかった	<input type="checkbox"/> とても手がかかった
	<input type="checkbox"/> 友達とあまり遊ばなかった	<input type="checkbox"/> 反抗期がなかった
【特記事項、気づいたこと 等】		

【保育・教育歴】 保育園・幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等

	園名・学校名	備考 (転校など就学の場の変更等)
幼児期		
小学校 【小学部】		
中学校 【中学部】		
高等学校 【高等部】		

【相談歴】 保健・医療、療育、福祉、教育相談等

期 間	相談機関名 利用サービス	相談内容	担当者
年 月～ 年 月 (歳～ 歳)			
年 月～ 年 月 (歳～ 歳)			
年 月～ 年 月 (歳～ 歳)			
年 月～ 年 月 (歳～ 歳)			
年 月～ 年 月 (歳～ 歳)			
年 月～ 年 月 (歳～ 歳)			

<

【診 断】

診 断 名 ・ 月 日 (歳)	医 療 機 関	医 師 氏 名
年 月 (歳)		
【気づいたこと、医師の指示 等】		
年 月 (歳)		
【気づいたこと、医師の指示 等】		

※ 医療機関で記入することもできます。

【手 帳】 再交付も記入してください。

手 帳 名 ・ 等 級	交 付 年 月 日
療育手帳 () ・ 身体障害者手帳 ・ (手帳) 級	年 月 日
療育手帳 () ・ 身体障害者手帳 ・ (手帳) 級	年 月 日
療育手帳 () ・ 身体障害者手帳 ・ (手帳) 級	年 月 日

<

【実施検査】 脳波、知能検査・発達検査等

検査内容・検査名	検 査 日	実施機関	検 査 結 果
	年 月		
	年 月		
	年 月		
【気づいたこと 等】			

※ 医療機関で記入することもできます。

【服 薬】

薬 剤 名	投 薬 期 間	医 療 機 関	医 師 氏 名
	年 月 ~ 年 月		
	年 月 ~ 年 月		
	年 月 ~ 年 月		
	年 月 ~ 年 月		
【気づいたこと、医師の指示 等】			

教育歴（学んできたことを整理しましょう）

※専門学校、大学など（中学校以降、高等学校を除く）

期間	学校等	備考（取得資格等）
年 月～年 月 （ 歳～ 歳）		
年 月～年 月 （ 歳～ 歳）		
年 月～年 月 （ 歳～ 歳）		
年 月～年 月 （ 歳～ 歳）		
年 月～年 月 （ 歳～ 歳）		

職場実習や職業訓練の経験

<

※委託訓練や作業所の経験も含む

期間	会社等	備考
年 月～年 月 （ 歳～ 歳）		
年 月～年 月 （ 歳～ 歳）		
年 月～年 月 （ 歳～ 歳）		
年 月～年 月 （ 歳～ 歳）		
年 月～年 月 （ 歳～ 歳）		
年 月～年 月 （ 歳～ 歳）		
年 月～年 月 （ 歳～ 歳）		

職歴（今まで経験した仕事について整理しましょう）

※アルバイトやパートも含め、新しいものから記入して下さい。

例	会社名	仕事の内容	勤務時間	雇用形態	雇用期間
	さいたま株式会社	①パソコンを使った事務の補助 ②倉庫で商品整理	9:00~17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・正社員 ・パート ・バイト ・その他 	平成21年4月~ 平成22年3月
		退職理由	仕事の難易度	職場の人間関係	仕事の満足度
		契約が終了した	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい ・簡単 ・どちらでもない 	<ul style="list-style-type: none"> ・大変だった ・よかった ・どちらでもない 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった ・やりがいがあった ・つまらなかった ・どちらでもない
1	会社名	仕事の内容	勤務時間	雇用形態	雇用期間
				<ul style="list-style-type: none"> ・正社員 ・パート ・バイト ・その他 	
		退職理由	仕事の難易度	職場の人間関係	仕事の満足度
			<ul style="list-style-type: none"> ・難しい ・簡単 ・どちらでもない 	<ul style="list-style-type: none"> ・大変だった ・よかった ・どちらでもない 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった ・やりがいがあった ・つまらなかった ・どちらでもない
2	会社名	仕事の内容	勤務時間	雇用形態	雇用期間
				<ul style="list-style-type: none"> ・正社員 ・パート ・バイト ・その他 	
		退職理由	仕事の難易度	職場の人間関係	仕事の満足度
			<ul style="list-style-type: none"> ・難しい ・簡単 ・どちらでもない 	<ul style="list-style-type: none"> ・大変だった ・よかった ・どちらでもない 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった ・やりがいがあった ・つまらなかった ・どちらでもない
3	会社名	仕事の内容	勤務時間	雇用形態	雇用期間
				<ul style="list-style-type: none"> ・正社員 ・パート ・バイト ・その他 	
		退職理由	仕事の難易度	職場の人間関係	仕事の満足度
			<ul style="list-style-type: none"> ・難しい ・簡単 ・どちらでもない 	<ul style="list-style-type: none"> ・大変だった ・よかった ・どちらでもない 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった ・やりがいがあった ・つまらなかった ・どちらでもない

チェック票

◎ここヶ月を思いだしながら、相談員と一緒に当てはまるチェック欄に○印をつけましょう。

チェック票は、特性を知ったり今後の取り組みを検討したりする手がかりとして活用します。

	家庭生活	チェック
1	生活リズム（起床・就寝など）は整っている。	
2	身だしなみには気をつけている。	
3	炊事・洗濯・掃除など、身の回りのことを自分でやっている。	
4	バランスのとれた食事など、健康に気をつけている。	
5	睡眠はうまくとれている。（寝つきが良く、目覚めもすっきりしている。）	
6	服薬管理は、自分でできる。	
7	約束の日にちや時間を守ることができる。	
8	自分の収入やこづかいの範囲で、お金のやりくりができています。	

	人づき合い・コミュニケーション	チェック
1	知っている人に会ったら、挨拶するように心がけている。	
2	緊張しないで人と話すことができる。	
3	言葉づかいには、気をつけている。	
4	人との会話が楽しめる。	
5	困った時に、人に助けを求めることができる。	

	リラックス・ストレス対処	チェック
1	自分なりの趣味を、持っている。	
2	休日や自由に使える時間に、いろいろやりたいことがある。	
3	自分の得意・不得意について、知っている。	
4	自分のストレスや疲労に気づき、早めに休むなどの対処が取れる。	
5	リラックスして過ごせる時間がある。	
6	気持ちを切り替える手段を知っている。*イライラしている時や気分が高まっている時など。	

	学校・就労・社会参加	チェック
1	家庭以外に参加できる場所がある。	
2	学校・職場・社会参加の場で、楽しみにしていることがある。	
3	マナーやルールを守れるほうである。	
4	一定の時間集中して、課題に取り組める。*集中時間は年齢によって異なるので相談員と判断する。	
5	仕事（学習・作業）の手順を理解することができる。	

	感覚・その他	チェック
1	人が多く目まぐるしい場面で、混乱しやすい。	
2	ザワザワした所や人の泣き声など、特定の場面に敏感である。	
3	極端に苦手な刺激がある。*におい、温度、手ざわり、肌ざわり、揺れ、痛み、光など。	
4	疲れやすく、体調を崩しやすい傾向がある。	
5	手先の動きや運動が苦手である。	

一日の生活リズムを記入しましょう

例

00月00日	0時	2時	4時	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	22時	24時				
睡眠	→												←				
食事					○					○					○	21時から5時	
運動					散歩												
趣味									←→								
家事・仕事					掃除				パソコン				食器洗い				
体調					良い○ ←→								悪い× ←→				

月 日	0時	2時	4時	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	22時	24時
睡眠													
食事													
運動													
趣味													
家事・仕事													
体調													

月 日	0時	2時	4時	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	22時	24時
睡眠													
食事													
運動													
趣味													
家事・仕事													
体調													

月 日	0時	2時	4時	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	22時	24時
睡眠													
食事													
運動													
趣味													
家事・仕事													
体調													

一日の生活リズムを記入しましょう

月 日	0時	2時	4時	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	22時	24時
睡眠													
食事													
運動													
趣味													
家事・仕事													
体調													

月 日	0時	2時	4時	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	22時	24時
睡眠													
食事													
運動													
趣味													
家事・仕事													
体調													

<

月 日	0時	2時	4時	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	22時	24時
睡眠													
食事													
運動													
趣味													
家事・仕事													
体調													

月 日	0時	2時	4時	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	22時	24時
睡眠													
食事													
運動													
趣味													
家事・仕事													
体調													

□自分が得意な仕事は・その理由は・(持っている資格は)

例：パソコンでデータ入力・何をするか決まっています経験がある・パソコン検定3級)
1
2
3

□自分が苦手な仕事は・その理由は

例：①接客 ②その時の状況で臨機応変に自分で判断しなければならないこと
1
2
3

<

□自分が希望する仕事は

例：○何が合っているかよくわからない ○やるが決まっている仕事
1
2
3

□自分が努力しても難しいことは

例：大きな声で指示されること 仕事を次々に命令されること
1
2
3

理解シート

(年 月 現在)

氏名	性別	年齢	所属機関等
	男・女		

【将来に向けての希望／目標】

【好きなこと／好きな場所・場面】

<

【苦手なこと／苦手な場所・場面】

【心配なこと／希望する支援】

【その他、 家族や身近な人の意見・考え 等】

支援シート VII

☆☆☆ ～専門学校・大学・社会人編～ ☆☆☆

氏名	性別	年齢	所属機関等
	男・女		

【目標】

【課題】

項目	計画 (Plan)	取組状況 (Do)	振り返り (See)
家庭生活 ・生活リズム ・家事 ・金銭管理等			
学生生活 ・授業 ・校内生活 ・進路			
社会参加 就 労			
リラックス ストレス対処			

【その他、配慮事項等】

--

※支援シートを別様式で作成された場合はそちらをご利用ください。

<

シートの記入方法

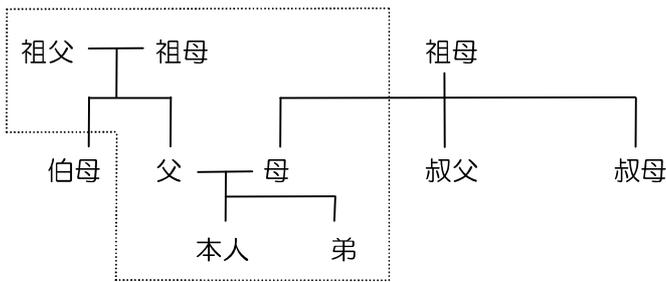
保護者の方が、記入できるところをまずはお記入ください。
療育・医療機関での検査などにつきましては、担当者にご確認ください。

1 フェイスシート

【家族構成】

氏名	続柄	生年	緊急の連絡先（携帯等）	備考 （どんな支援が具体的に）
埼玉 太郎	父	S50.6	090-0000-△△△△	
浦和 うめ	祖母	S20.2	090-△△△△-0000	別居 車の運転が可能なので療育機関への送迎ができる

【家族関係図】 *同居の家族を で囲んでください。



【生育歴】

* 母子手帳を参考にご記入ください。

【保育・教育歴】

	園名・学校名	備考 （転校など就学の場の変更等）
幼児期	さいたま幼稚園	
小学校	さいたま市立〇〇小学校	さいたま市立△△小学校 (H23.4、2年時に転校)

【相談歴】

期 間	相談機関名 利用サービス	相談内容	担当者
20年6月～ 年 月 (3 歳～ 歳)	〇〇区保健センター 発達相談	近所の公園に行っても同年齢の子どもと遊べない。人との関わりが持てないのかと心配だった。	〇〇

【診 断】【実施検査】 医療機関・相談機関等でも記入していただけます。

【手 帳】 再交付も記入してください。

【服 薬】

2 理 解 シ ー ト

【将来に向けての保護者の願い / 心配なこと】

- ・周りのお友だちと関わりあいながら、コミュニケーションが図れるようになってほしい。
- ・幼稚園(保育園)で、遊びのルールが分からず友だちとトラブルになることが多い。
- ・人との関わりが苦手で、一人であることが多い。

【子どもの好きなこと / 苦手なこと】

- *得意なこと、好きなこと、興味・関心の強いことなど
 - ・ブロックや粘土で動物や恐竜を作ることが好きである。
 - ・テレビアニメのキャラクターの名前を覚えることが得意である。
- *苦手なこと、嫌いなこと、さげなければならないこと
 - ・ことばの理解が未熟であるために、筋道を立てて経験したことを話すことが苦手である。
 - ・1桁の繰り上がりのないたし算、くり下がりのないひきざんはできるが、文章題が苦手である。
 - ・聴覚過敏の傾向があり、予測していない大きな音が苦手である。何の音であるかが分かれば安心するが、分かるまで不安が続く。

【生活上で必要な補助具】

- *肢体に不自由がある場合
 - ・車椅子、歩行器、歩行補助つえ
 - ・座位保持具、頭部保持具、起立保持具
 - ・スプーン、フォーク（柄を太くして握りやすく、回転して水平を保つようにしたもの）
 - ・くつ
- *視覚に不自由がある場合
 - ・拡大鏡
- *聴覚に不自由がある場合
 - ・補聴器、FM補聴器
 - その他、生活上で必要な補助具、自助具

【そ の 他】

- *こだわりやその他ご心配なことがありましたら、ご記入ください。
 - ・常同運動がある。
 - ・出歩く。
 - ・大きな声を出す。

【就学相談の記録 A】 * 就学相談において、相談担当者で作成します。

項目		現在の状態				
生活・行動	食 事	介助	半介助	一部支援	自立	【教育的二ーズ(聴取・行動観察)】
	排 泄	介助	半介助	一部支援	自立	
	着 脱	介助	半介助	一部支援	自立	・衣服の前後の区別がつかないので、印をつけるようにする。
	安 全 (危険認識・医療的ケア等)	難	何とか	一部支援	可能	・視覚的に反応するので、興味を示しそうな物に留意する。
	運 動 (移動・階段・手指等)	不安定	やや不安定	ほぼ安定	良好	
学	表出言語	なし	1語文	2~3語文	多語文	・じっくりを聞いて、言いたいことが伝えられるようにする。

* さいたま市教育委員会は「就学支援」の考え方で就学相談を進めます。

それは、現在の本人の状態(特性)について共通理解を図り、現在の困難さを改善又は克服するための手立てについて、そして、小学校へ入学したときの教育的二ーズについて話し合います。

また、このページは、幼稚園・保育園・療育機関等(幼児教育)から小学校(学校教育)へスムーズな移行(適応)ができるようにするため活用するシートです。

【就学相談の記録 B】 ※ 当てはまるものに○をつけてください。

視	視力	裸眼	右(0.1)	左(0.1)
		矯正	右(0.5)	左(0.5)
覚	<input type="checkbox"/>	5m離れたところから、人の顔がわかる。		
	<input type="checkbox"/>	めがねやルーペを使えば、文字の読み書きができる。		
	<input type="checkbox"/>	極端に目を近づけて、ものを見る。		
	<input type="checkbox"/>	不自然に顔を動かして、物を見る。		
	<input type="checkbox"/>	歩く先を足でさぐりながら歩く。		
	<input type="checkbox"/>	周辺のものに気づかずにぶつかったり、つまづいたりする。		
	<input type="checkbox"/>	明るいところでは、まぶしがる。		
	<input type="checkbox"/>	見えてはいないが、光に対する反応はある。		
	<input type="checkbox"/>	暗いところでは、見えない。		
<input type="checkbox"/>	学校では、拡大教科書を使用する。			

3 支援シート I～VI ☆☆☆ 個別の教育支援計画 ☆☆☆

このシートは、幼児教育から学校教育において、「これまでの支援」を「これからの支援」に引継ぎ、情報を伝え合い共有することで、お子さんにとってよりよい支援を目指すためのものです。

お子さん自身の願い、保護者の方の願いに寄り添って支援していくためにも、お子さんの実態を正しく把握し、必要な支援を関係機関と話し合いながら考えていきましょう。切れ目のない支援と連携が図れるようご活用ください。

支援シートは、本人及び保護者が関係機関とともに作成しご記入ください。

【本人の思い】

【保護者の願い】

☆ 学習面 ・漢字がたくさん書けるようになりたい。	☆ 学習面 ・丁寧に文字が書けるようになってほしい。
☆ 生活面 ・落とし物をしないようにする。	☆ 生活面 ・学校の準備を自分でできるようになってほしい。
☆ 社会性・対人関係 ・友だちとなかよく遊びたい。	☆ 社会性・対人関係 ・友達と仲良く過ごしてほしい。

【個別の支援計画】

項目	3 年 生		4 年 生	
	計 画 (Plan)	取組状況 (Do)	計 画 (Plan)	取組状況 (Do)
家庭生活	使ったものは、自分で片付けることができる。	おもちゃの置き場所を明確化したところ、自分で片付けられるようになってきた。		
学 習	字を丁寧に書くことができる。 発表の順番を守ることがができる。	早く終わらせたいので、まだ乱雑。 学級のルールを守れるようになった。		
生 活 行 動	集団活動に参加できる。	集会、朝会等長い時間参加できた。		
社 会 性 対人関係	友だちにやさしい口調で話す。 子どもだけで遊ぶことができる。	時間をにおいて自分の言動を振り返ることが見られるようになってきた。		
そ の 他	安定した情緒で過ごす。	担任の他、学年の先生との関係もよく指示も通りやすくなった。		

※ 高等学校・高等部における個別の教育支援計画の項目は、自分で記入してください。

困った時の相談先

お子さんを育てていて「ちょっと心配」、「育てにくいな」、「どう関わったらいいのかしら」等心配に思われることもあることと思います。特別な支援の必要なお子さんは、早く気づき、適切な支援を行なうことが大切です。

まずは、下記の機関にご相談ください。

子どもたちの健やかな成長を願って、お子さんの発達や障害、学校（園）生活に関する悩みごと・心配ごとについて、さいたま市内在住（通学）の幼児・児童・生徒及びその保護者を対象とした相談を行います。

特に、特別な教育的支援が必要なお子さんの適切な就学について、専門的な立場から相談を行います。

また、子どもたちの学校（集団）への適応力を高めるため、「特別支援ネットワーク連携協議会」による学校（園）への支援を行っています。

- ☆ さいたま市教育委員会 特別支援教育相談センター
〒331-0052 さいたま市西区三橋6-1587
TEL 048-623-5879
- ☆ さいたま市教育委員会 特別支援教育相談窓口
〒338-0002 さいたま市中央区下落合6-10-3
TEL 048-857-6806

成長や発達に心配のあるお子さんや、落ち着きがない、お友達に関心がないなど行動が気になるお子さんについて、小児科医や心理士、言語聴覚士などが相談を行い、専門的な判断のもとに、その子どもの状況に応じた診断・療育を総合的に行います。

また、福祉の増進を図ることを目的として、家族への支援及び保育園・幼稚園等も含めた地域への支援を行っています。

- ☆ さいたま市総合療育センターひまわり学園
〒331-0052 さいたま市西区三橋6-1587
相談・支援係 TEL 048-622-1218
- ☆ さいたま市療育センターさくら草
〒338-0837 さいたま市桜区田島2-16-2
管理・相談係 TEL 048-710-5811

18歳未満のお子さんの療育、しつけ、発達の遅れ、非行などあらゆる問題について、家族等からの相談に応じ、児童福祉の専門家が相談に応じます。

また、必要に応じて医学・心理学などによる判定を行い、これらに基づいた助言指導、施設入所の手続き等を行っています。

- ☆ さいたま市児童相談所（中央区役所別館1階）
〒338-0002 さいたま市中央区下落合5-6-11
TEL 048-840-6107

さいたま市内在住の小学校高学年から中学生の児童・生徒及びその家族、関係者などを対象に、こころの病気や悩みに関するさまざまな相談を行います。

特に、発達障害児への支援としては、一次障害とは区別される不安や抑うつ、過度の興奮などの精神症状（二次障害）が出現した場合の、医療的な支援の可能性について相談を行います。最善の支援を考えるために、必要に応じて学校等他の機関と協働します。

☆ 子どもの精神保健相談室（さいたま市こころの健康センター）

〒338-0003 さいたま市中央区本町東4-4-3

火・金曜日 TEL 048-851-5600

障害者が地域で安心して自立した生活を営むことができるよう、事業所、障害者施設、特別支援学校、各区の障害者生活支援センター等の関係機関と連携しながら、障害者の就労支援、生活支援、授産施設に対する支援、社会参加支援などの各種支援を総合的に展開します。

☆ さいたま市障害者総合支援センター

〒338-0013 さいたま市中央区鈴谷7-5-7

TEL 048-859-7255

主に18歳以上の身体障害者及び知的障害者を対象に、本人や家族などからの相談に応じ、必要に応じて医学的・心理学的判定や職能判定、補装具の適合判定などを行い、これらに基づいた助言指導を行っています。また、身体障害者手帳、療育手帳の交付申請に対する認定を行っています。

☆ さいたま市障害者更生相談センター（大宮区役所4階）

〒330-8501 さいたま市大宮区大門町3-1

TEL 048-646-3128

☆ 各区支援課障害福祉係・保健センター

区役所	支援課	保健センター	区役所	支援課	保健センター
西 区	620-2662	620-2700	桜 区	856-6172	856-6200
北 区	669-6062	669-6100	浦和区	829-6143	824-3971
大宮区	646-3062	646-3100	南 区	844-7172	844-7200
見沼区	681-6062	681-6100	緑 区	712-1172	712-1200
中央区	840-6062	853-5251	岩槻区	790-0163	798-2211

〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4

さいたま市役所保健福祉局福祉部障害福祉課（さいたま市役所2階）

TEL 048-829-1305 / FAX 048-829-1981

e-mail : shogai-fukushi@city.saitama.lg.jp

さいたま市教育委員会学校教育指導2課（さいたま市役所9階）

TEL 048-829-1667 / FAX 048-829-1972

e-mail : kyoiku-shido2@city.saitama.lg.jp

困った時の相談先 2

成人期にさしかかると、本人の社会参加の形も様々となり、選択肢の幅も広がっていきます。このページでは、生活や就労に関することなどをはじめとして、主に成人期を支える支援機関の一部を紹介します。相談先 P1～相談先 P2 ページ目と合わせて、ご利用ください。

○さいたま市発達障害者支援センター

TEL 048-859-7422

発達障害者支援センターでは、市内在住のご本人・ご家族・支援者の皆さんからの発達障害に関する様々な相談に対応しています。 *継続的な相談支援は、概ね18歳以上の方を対象とします。

○さいたま市障害者総合支援センター（就労支援係）

TEL 048-859-7266

さいたま市民を対象に、全ての障害者に対して、就労に関する相談、就労に向けた計画作り、実習先の紹介調整、ジョブコーチの派遣、パソコン講座・就職活動講座などの各種研修を実施し、就労に対する支援を行っています。

○埼玉障害者職業センター

TEL 048-854-3222

全ての障害者を対象に職業相談、職業評価、職業準備支援、ジョブコーチの派遣、リワーク支援などを行います。障害者職業カウンセラー等の職員が配置されている障害者の職業的支援を行う専門機関です。

○ハローワーク（公共職業安定所）

仕事についての相談や職業紹介を行っています。一般の窓口のほか専門援助部門があります。

お住まいの区		電話番号
中央区・桜区・浦和区・南区・緑区	浦和公共職業安定所	048-832-2461
西区・北区・大宮区・見沼区・岩槻区	大宮公共職業安定所	048-667-8609

○障害者生活支援センター

障害のある方やそのご家族が、地域で安心・安全に暮らしていくために、心配事やサービスや制度の利用方法についてなど生活に関する相談支援、作業所などの施設利用についての支援などを行います。

西区	西区障害者生活支援センター（ゆめの園）	048-623-1768	中央区	中央区障害者生活支援センター（来夢）	048-859-7231
北区	北区障害者生活支援センター（みぬま）	048-796-5705	桜区	桜区障害者生活支援センター（さくらとびあ）	048-783-7800
	北区障害者生活支援センター（バルベッキオ）	048-661-7092		浦和区	浦和区障害者生活支援センター（やどかり）
大宮区	大宮区障害者生活支援センター（みぬま）	048-650-6460	南区		浦和区障害者生活支援センター（むつみ）
	大宮区障害者生活支援センター（やどかり）	048-795-4720		南区障害者生活支援センター（あみ〜こ）	048-866-5098
見沼区	見沼区障害者生活支援センター（やどかり）	048-682-1101	緑区	南区障害者生活支援センター（社協ひまわり）	048-710-8105
	見沼区障害者生活支援センター（来人）	048-682-0677		緑区障害者生活支援センター（むつみ）	048-607-1467
			岩槻区	岩槻区障害者生活支援センター（ささほし）	048-793-4701